

# パソコンを使った 教材のオンライン校正で 被災地を元気に!

**写真の良し悪しチェック**

● 写真の撮影方法  
コンピュータで撮影した際に、よく見ると写真に  
目立たない「デジタルノイズ」が写り込んでしまっ  
ている (2009年)。

● 画像解像度 (DPI) 画像の解像度  
通常、印刷用写真用紙の解像度は300dpiです。  
解像度が低いと、印刷されたときに、写真がぼ  
けたように見えます。また、パソコンで画像を  
拡大すると、写真がぼけたように見えます。印刷  
の際には、写真の解像度を300dpi以上に設定し  
ておく必要があります。

● 画像の色調  
印刷されたときに、写真の色調が正確に再現  
されない場合があります。印刷の際には、写真  
の色調を正確に再現するために、写真の色調を  
校正する必要があります。

● 画像のサイズ  
印刷されたときに、写真のサイズが正確に再現  
されない場合があります。印刷の際には、写真  
のサイズを正確に再現するために、写真のサイズ  
を校正する必要があります。

※ 写真から読み取れる情報は、必ずしも正確な情報とは限りません。

ベネッセコーポレーションで  
は、2012年1月から、陸前高田のな  
つかしい未来創造株式会社さんと一緒  
に、教材の一部を被災地在住のかたにオン  
ラインで校正してもらう取り組みを始めています。  
オンライン校正は、被災地での雇用創出と、ベネ  
ッセにとってのデジタル化とコスト減、双方にメリ  
ットがある継続的な活動です。現在は地元のパ  
ソコン教室、W-planさんのサポートも受けな  
がら、計6名(女性5名、男性1名)のかた  
から高校講座の商品制作にご協力  
を頂いています。

# 他社コラボで Good Job

第6回

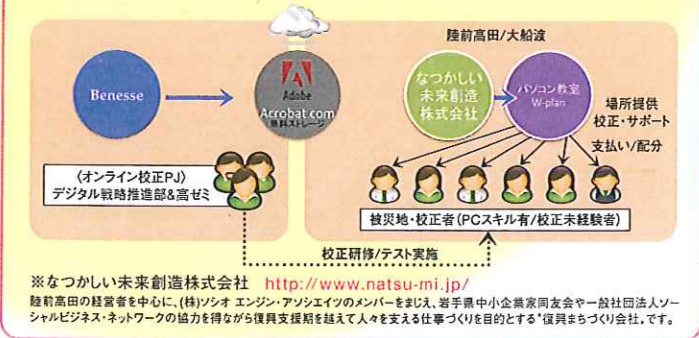
今、注目の他社コラボ事例をご紹介します。

## なつかしい未来創造 株式会社



## (株)ベネッセコーポレーション デジタル戦略推進部& 高校生事業部

### オンライン校正の仕組み



### 人と人の強いつながりと デジタルの力でオンライン校正が実現

被災地の状況を知り、そのとき取り組んでいたオンライン校正なら被災地のかたにもお願いできるんじゃないか、と思ったのが始まりです。

この企画で重視したのは、「継続性」です。被災地だからといって特別単価を設定すれば、いずれ、コスト面で企画が続かない可能性も出てきます。継続的な活動にするために、あえて単価、工程、品質を特別扱いません、現地のかたからもご理解・ご協力を得ています。

今回は陸前高田、大船渡での取り組みですが、今後、もっと被災地×校正の事例を増やしたいですね。また、対象を広げ、障がい者×DTP制作などの可能性も検討できればと思います。そのために、まずは適用する商品・サービスが必要です。教材、DMなんでも良いです。相談レベルでかまいません。ぜひ皆さんかたのご連絡をお待ちしています!!



ベネッセコーポレーション  
デジタル戦略推進部  
デジタル基盤推進ユニット  
制作技術開発セクション  
阿部 健二

ベネッセ 担当者

### 「人とのつながり」が 仕事を創り、誇りも生み出す

昨年秋にベネッセさんからオンライン校正のお話をうかがったとき、うれしい反面、現地でのスタッフ集めに不安がありました。そこで、まず現地の新聞社などにご相談に行ったところ、パソコンスキルがある人材ということで地元のパソコン教室W-planさんをご紹介して頂きました。

校正スタッフはW-planの生徒さんや、広告を見て応募してくださったかたです。ほぼ全員が校正未経験ですが、皆さんとても熱心で、校正の品質にも高評価を頂いています。スタッフのなかには、この仕事のために自宅用パソコンを購入されたかたや、初めてのお給料を自宅の神棚に飾ってくださったかたも。スタッフのかたが、この仕事にやりがいや誇りをもってくださることは、本当にうれしいことです。



なつかしい未来創造株式会社  
中野 里美さま

なつかしい未来創造ご担当

社内のステキコラボ事例募集中!!

現在、このページで紹介する他社とのコラボ情報を募集しています。お心あたりのあるかたは社内広報課・宮本美紀 (mikimiya@mail.benesse.co.jp) までご連絡ください。お待ちしております。

